

令和6年第2回木津川市議会定例会（6月20日）

一般質問通告書

1 福井 平和	
質問事項： 新教育長就任にあたり聞く	
質問 要 旨	<p>平成26年（2014年）に教育委員会制度の大改革が行われ、今年で10年の節目を迎える中、5月14日付けで就任された竹本充代教育長には、市町での豊富な行政経験を活かし、教育行政の最終決定者としてご活躍されることを、先ずもってご期待申し上げます。</p> <p>そこで、就任直後にあたり、今後の市教育行政の一層の進展に向けて、次の事項について基本的な考えをお尋ねします。</p> <p>(1) 本年3月に策定された令和6年度から10年間の取組を示す「第2次木津川市教育振興基本計画」の実効ある推進に向けて、教育長自身が強く認識されている課題及び重点的に取り組むべきと考える施策は。</p> <p>(2) 市長が主催する「総合教育会議」は、地方教育行政における責任体制の明確化及び首長と教育委員会との連携を強化する趣旨で設置されているが、市長が策定している教育大綱や教育の条件整備など、総合教育会議に臨む姿勢と現時点での教育委員会サイドからの協議、調整事項の有無は。</p>
質問事項： デジタル田園都市構想総合戦略の推進について	
質問 要 旨	<p>国・地方を問わず、持続可能な行政運営と地域コミュニティの維持を考える上で、今日、最大の関心事は、「人口減少」と言っても過言ではありません。</p> <p>このため、国においては、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化させ、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指す「デジタル田園都市構想総合戦略」が、令和4年12月に閣議決定され、また、昨年12月にはその改訂版が策定されております。</p> <p>一方、本市においては国の戦略の趣旨や策定経緯及び人口動態を踏まえ、令和6年度から5年間の地域創生の指針として、本年3月「木津川市デジタル田園都市構想総合戦略」が策定されたところであります。</p> <p>そこで、次の点についてお聞きします。</p> <p>(1) 市総合戦略の前身である『まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」と「総合戦略」』の取組成果などをどのように評価していますか。</p> <p>(2) 国の改訂版において、新たに盛り込まれた主な取組と財政支援措置は。</p> <p>(3) 市総合戦略では、地域ビジョンとして「幸せ実感 デジタル共創都市 木津川」との将来像が設定されているが、人口減少社会において、同戦略を通して市の魅力をどのように高めようとしているのか。</p>
質問事項： 新「子ども・子育て支援事業計画」の策定について	
質問 要 旨	<p>令和7年度から11年度の5年間の期間とする「木津川市第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定作業が本年度に取り組みされますが、中でも昨年4月にこども家庭庁が内閣府の外局として設置され、同庁が掲げる「こどもまんなか社会」の実現に向けての子育て施策の動向や充実に注目しているところでもあります。</p> <p>そこで、次の点についてお聞きします。</p> <p>(1) 本年度、現行の第2期計画の最終年度を迎える。同計画で定めている5つの基本目標の達成度と現時点での評価は。</p> <p>(2) 国の「次元の異なる少子化対策」の一環として、本年度から保育士の配置基準が見直されている。保育士の確保や待機児童数の推移など、市の実態と課題は。</p> <p>(3) 国が8年度から本実施しようとしている「こども誰でも通園制度」が話題になっている。現段階での制度内容と、市の保育サービスの多様化に向けた対応は。</p>

2 西山 幸千子	
質問事項： 大阪・関西万博へ児童・生徒の参加は安全か	
質問 要 旨	<p>児童・生徒の社会見学場所として京都府でも予算（3億3400万円）が組まれたと報道されています。</p> <p>(1) 木津川市教育委員会としてどう対応しようと思っけていますか。</p> <p>(2) 会場の夢洲1区はもともとが廃棄物の埋立地で、メタンガスの発生が確認されています。子どもたちを連れていくのに安全だと考えていますか。</p> <p>(3) 現地へ行くとしたら、交通手段などはどうなりますか。暑さ対策をどう考えていますか。</p>
質問事項： 保育園の統廃合計画は誰のためのものか	
質問 要 旨	<p>1 今年度から公立保育園のうち、いづみ保育園とやましる保育園が「認定こども園」となり、「1号認定」がスタートしました。保護者ニーズはどのようになっていますか。</p> <p>2 医療的ケア児や配慮を必要とする子どもたちが増えています。医療的ケア児を木津川市も昨年度から受け入れ始めています。現状はどうなっていますか。 また、民間の保育園・認定子ども園ではそれぞれ何人受け入れていますか。</p> <p>3 「こども誰でも通園制度」が26年度から全国で本格実施される予定で、先行して取り組んでいる自治体もあります。木津川市の取り組み、これからの予定はどうなっていますか。</p>
質問事項： 給食センターからの給食は喫食時間が守られていますか	
質問 要 旨	<p>1 現在、給食センターでの仕上がり時間と給食の開始時間（食べ始め）との差で、一番長くかかっているのはどの学校で、どれくらいの時間ですか。</p> <p>2 時間を短縮できるよう改善を進めていますか。</p> <p>3 まだしばらく食数の増加が続きます。今後どう対応するのですか。</p>

3 倉 克 伊	
質問事項： 木津東地区の今後の展望について	
質問 要 旨	<p>関西文化学術研究都市木津東地区については、地権者主体の組合施行による土地区画整理事業の実現に向けて、取り組みを進められている。</p> <p>そこで、以下のことをお聞きする。</p> <p>(1) 地権者の構成人数及び準備組合への加入状況は。</p> <p>(2) 土地区画整理事業の認可に向けた進捗状況は。</p> <p>(3) 市は、オブザーバーとしてどのような形で支援していくのか。</p> <p>(4) 事業の具現化に向けて、市長の思いは。</p>
質問事項： 国道24号バイパス城陽井手木津川線とその周辺整備について	
質問 要 旨	<p>城陽井手木津川バイパスの質問について、私は一般質問や代表質問などで毎年行ってまいりました。</p> <p>この道路は、工事中の新名神と木津川市の木津川橋を繋ぐ約11.2kmの国道24号バイパスとして、木津川右岸の市の基幹道路としての計画であり、災害時には、既存の国道24号の代替道路として活用されるとともに、普段の生活道路として今までより一層の利便性が期待されています。</p> <p>そこで、以下のことをお聞きする。</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。工事着手までのスケジュールは。田護池とにぎわい拠点整備計画の進捗状況は。</p> <p>(2) 地元の道路や河川及び水路など、地域の役員や団体への説明会はいつごろか、またその内容は。地元要望には応えられるのか。</p> <p>(3) 以前の質問で、この沿線に防災施設の設置を地域として望む声があることをお伝えしたが、その後の検討は。</p> <p>(4) 府道枚方山城線の着手状況は。また、今後の見通しは。</p> <p>(5) バイパスとJR奈良線との間の駅周辺は、高台で宅地としても安全な地域である。災害時に既存の市街地の大半が水没の可能性がある中、都市計画の見直しを検討すべきと考えるが、どうか。</p>

質問事項： 府道上狛城陽線の不動川トンネルの抜本的な改善は	
質問 要 旨	<p>このトンネルは、昭和28年以後に整備され現在に至っているが、出口付近で何度も事故が起きており、死亡事故も発生している。また、一般市民の生活道路でもある。地元からは、抜本的な改善を求める要望も出ている。</p> <p>この問題について、幾度となく質問してきたが、全く進捗が見られない。</p> <p>そこで、以下のことをお聞きする。</p> <p>(1) 市は毎年、京都府に対し、このトンネルの改善要望を出しているのか。出しているのなら、府からの回答は。</p> <p>(2) 市民の安全を守る観点から、市はどのような対応をすればよいとお考えか。</p>

4 兎本 尚之

質問事項： 適正な組織体制の構築を	
質問 要 旨	<p>木津川市に合併をし、合併自治体に対する有利な特例措置である普通交付税合併算定替への終了対策は行財政改革行動計画等をもとに成果が出たものと認識している。</p> <p>合併から合併算定替終了までの市政運営と算定替後の市政運営は、12月での一般質問でも述べたように前市長の市政から新たな市長の元で進化するように変わっていかねばならない。</p> <p>谷口市政1年で解決する問題ではありませんが、市長が木津川市のセカンドステージとおっしゃるように市民のためにも正常な市政運営ができる組織体制にしていく必要があると考えます。そこで質問します。</p> <p>(1) 職員、会計年度任用職員、管理職について、それぞれの総数と女性職員数と割合は。</p> <p>(2) 現職の旧町採用と合併後採用の職員の人数と割合は。</p> <p>(3) 部長級・次長級が課長級も兼務している理由は。</p> <p>(4) 男性のみ、女性のみ課がある理由は。</p> <p>(5) 第3次木津川市定員適正化計画を終え、この1年でどのように総括されているのか。</p> <p>(6) 定額減税の事務が職員の通常業務への負担となるがどのように取り組むのか。</p>

質問事項： 加茂地域のまちづくりをどうするのか

質問 要 旨	<p>6年度施政方針で、「過疎地域に指定された加茂地域に地域おこし協力隊を募集するほか、加茂地域を大学生のフィールド活動の場として、現状の課題把握・解決に向けた検討や取り組みを進める」とのことでした。また、バス路線の休止問題の対策や影響、移動手段確保など、様々な課題に対して個別に対応しているは、人口減少・少子高齢化の日本国では、住民福祉を維持することすら困難である。スケールメリットを活かし、スクラップ&amp;ビルドでコストパフォーマンスの高いまちづくりを考えていく必要がある。</p> <p>どんなことにも財源が必要ですので、あえて言わせていただきます。今の過疎債の活用の仕方では、事業によって過疎債の70%、40%または35%は加茂地域の特定財源として活用されるべきものであると考えています。</p> <p>加茂地域の過疎対策、まちづくりは加茂地域単体ではなく、加茂地域を含めた木津駅から東側のまちづくりをどのようにしていくのかといった少し広域の視点からも必要であると考えます。そこで質問します。</p> <p>(1) 大野バイパス、木津川の堤防強化、国道163号(銭司)の事業の進捗状況は。</p> <p>(2) 加茂地域の人口目標は何人か。</p> <p>(3) 残念石のこれまでの経過と観光資源としての活用はどのように考えているのか。</p> <p>(4) 地域おこし協力隊は、どうなれば成功といえるのか。</p> <p>(5) 加茂地域を大学生のフィールド活動の場とは、加茂地域をどのようにしたいのか。</p> <p>(6) なぜ加茂地域の都市計画は進まないのか。過疎債の活用や財産区の協力で進むのでは。</p> <p>(7) 南加茂台地域でリノベーションが活性化するような環境が必要と考えるがどうか。</p> <p>(8) バス路線の休止について賛否の声を聞く、寄附を募ってはどうか。</p>
--------------	---

質問要旨

- (9) 住民福祉の移動手段の確保などは、公平性の観点から各制度との相対的な視点で取り組みを。
- (10) 昨年、京田辺市で自動運転の取り組みをされていたが、市も取り組んではどうか。
- (11) 雲村交差点と梅谷交差点で朝夕に渋滞するが、少しでも解消できないものか。
- (12) 木津駅東側の開発に向けて、地権者の機運が高まるような働きかけを。

令和6年第2回木津川市議会定例会（6月21日）

一般質問通告書

1 草水 基成	
質問事項： 安心して相談できる環境を求めて	
質問 要 旨	<p>日本の総人口は減少し、生産年齢人口として経済を支えてきた人々が次々と高齢者人口の構成員へと移り変わり、高齢化が進んでいる状況です。</p> <p>2025年には、日本人の5人に1人が75歳以上の後期高齢者になり、社会問題が深刻化するようです。そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 自宅に引きこもる50代の子どもの生活を80代の親が支え、経済的にも精神的にも行き詰まってしまう「8050問題」が、近年、深刻化しています。</p> <p>本市でのひきこもり世帯数、世代別人数、相談窓口への相談、問合せ件数の状況をお聞かせください。</p> <p>(2) 1人暮らしの高齢者が2050年に1千万世帯を超えて、5軒に1軒になるという国立社会保障・人口問題研究所の最新推計が、このほど公表されました。</p> <p>1人暮らしの高齢者が急増し、地域で安心して生活できるよう、見守りや介護などの支援の充実が求められています。</p> <p>厚生労働省は、このほど、身寄りがない高齢者に身元保証や死亡後の手続きサービスを提供する民間事業者が守るべき指針の案を公表しました。</p> <p>国のガイドラインを受けて本市の見解をお聞かせください。</p>
質問事項： 誰もが輝く社会を目指して	
質問 要 旨	<p>自己の能力を最大限に発揮し、個性を活かして生きていこうとする個人を、生涯にわたり支援する自治体となるよう期待して、次の点について伺います。</p> <p>本市の子どもたちには、創造力豊かに夢を抱き高揚するきっかけや機会を提供いただきたいです。</p> <p>その一つとして、京都府が府内の小学生、中学生、高校生を対象に、大阪・関西万博に校外学習として招待する計画をしています。ぜひこの機会を活用していただきたいです。</p> <p>本市の見解をお聞かせください。</p>
質問事項： 答弁された事のその後について	
質問 要 旨	<p>以前に質問した事柄について、本市の姿勢・進捗状況を伺います。</p> <p>(1) 奈良交通路線バス加茂線など、令和7年4月以降の当該路線バス運行について協議が行われていますが、進捗状況をお聞かせください。</p> <p>(2) 府県境施設の多数の徘徊犬を8月末までに係留することが、本市として道路占用の許可を出す条件となっています。進捗状況をお聞かせください。</p> <p>(3) 5月に開催された赤田川の水質に関する地元説明会について、参加対象者、出席者数、その際に出たご意見についてお聞かせください。</p>

2 谷口 英子	
質問事項： 木津川市の公共交通とまちづくりを持続可能なものにしよう	
質問 要 旨	<p>昨年、奈良交通が梅美台二丁目ー加茂駅間のバス運行を休止するという衝撃的なニュースが走ったことは記憶に新しいと思います。今年度については、国の交付金により奈良交通を支援することで、延命が実現されましたが、持続可能な方法とは言えません。</p> <p>合併して17年が経った今、木津川市のまちづくりが問われています。加茂地域や山城地域では公共交通の利便性が低下し、駅前が寂しくなる一方です。木津においては人口が急激に増えた地域と古い地域との不均衡が目立ちます。そこでお聞きします。</p> <p>(1) 南加茂台地域の奈良交通バス問題は、その後どうなりましたか。</p> <p>(2) 平成31年(2019年)に請願採択された山城町域のバス路線の精華町祝園への延伸は、その後どうなりましたか。</p> <p>(3) JR上粕駅の規模適正化工事は、どのような状況ですか。</p> <p>(4) 市長は、木津川市の公共交通とまちづくりの関わりをどう考えておられますか。</p>
質問事項： 子どもの権利擁護を仕組み化しよう	
質問 要 旨	<p>子どもの権利条約が批准されてから今年で30年です。去年は国内において子ども基本法が制定され、12月には国が「子ども大綱」を策定しました。市町村に対しては「市町村子ども計画」策定の努力義務が課せられています。</p> <p>果たして木津川市の全ての子どもたちの権利は十分に守られているのでしょうか。昨年9月の一般質問でも子どもの権利について質問しましたが、今回は違う角度からお聞きします。</p> <p>(1) 木津川市の児童虐待に対応する体制は。</p> <p>(2) 木津川市には、子どもの権利を擁護する仕組みがありますか。</p> <p>(3) 離婚後の養育費の受給は、子どもの権利の一つです。市はこの権利をいかに保証しますか。</p>
質問事項： 聴覚障がい者と共に生きる木津川市にしよう	
質問 要 旨	<p>聴覚障がい者は、音声言語獲得前に聴力を失ったろう者・ろうあ者、音声言語を獲得していたが何らかの理由で聴力を失った中途失聴者、一定程度の聴力が残っている難聴者、さらには高齢のために難聴になる加齢性難聴の方まで多様です。</p> <p>ろう者・ろうあ者にとっての第一言語は手話ですし、中途失聴者や難聴者にとっても手話や要約筆記、視覚による情報提供などは重要です。補聴器や人工内耳といった機器も聞こえの改善に役立ちます。そこでお聞きします。</p> <p>(1) 市の聴覚障がい者及び軽度・中等度難聴者に対する支援には、どのようなものがありますか。</p> <p>(2) 市内小中学校において、子どもたちが手話を学ぶ機会がありますか。</p> <p>(3) 市長は手話についてどのような見解をお持ちですか。</p>

3 宮嶋 良造	
質問事項： 会計年度任用職員の待遇改善と賃金格差是正	
質問 要 旨	<p>(1) 現在の職員数は何人ですか。その内、会計年度任用職員は何人で、フルタイム職員とパートタイム職員はそれぞれ何人ですか。</p> <p>(2) パートタイム職員の内、週の勤務時間が20時間以上の職員は何人で、15.5時間以上20時間未満の職員は何人ですか。</p> <p>(3) 会計年度任用職員の男女別人数と比率はどうなっていますか。女性の比率が高い理由は何ですか。</p> <p>(4) なぜ期末勤勉手当の支給対象者を週勤務20時間以上としているのですか。15.5時間とすべきではないですか。</p> <p>(5) パートタイム職員で1日の勤務時間が15分だけ短い職員数は、何人ですか。短縮の理由は何ですか。フルタイム職員とすべきではないですか。</p>

質問要旨	<p>(6) 職員の平均給与と会計年度任用職員の平均給与はそれぞれいくらか。</p> <p>(7) ジェンダー平等に反する男女の賃金格差が存在するのではないですか。会計年度任用職員の賃金の引き上げと待遇改善が必要ではないですか。</p>
質問事項： 市民の移動手段をどう保障するのか	
質問要旨	<p>(1) 奈良交通バスの加茂線・木津城山台線を維持するために、市はどのような検討・努力を行いましたか。その結果、どのようにしてバス路線を維持しようとしていますか。</p> <p>(2) 少子化による高校・大学生の減少や勤労世代の減少、在宅勤務の増加などバス利用者は今後とも減少することが見込まれます。しかし、収支が赤字だからといって減便・廃止するのではなく、市民の移動を保障するために公共交通を守る市の役割があるのではないですか。木津川市地域公共交通計画もそうした視点でつくられているのではないですか。どのように公共交通を守り、市民の移動を保障しますか。</p> <p>(3) 市内にあるJRや近鉄の鉄道駅に駅員が常駐しない駅はどの駅ですか。JR・近鉄も駅員を減らし、駅の無人化を進めています。障がい者にとって利用しづらく、危険な駅になっていませんか。市としてどう対応しますか。</p>
質問事項： 教育費の無償化をどう実現するのか	
質問要旨	<p>(1) 憲法26条は「義務教育は、これを無償とする」と定めています。しかし、実際には保護者が以下に示した「教育費」を負担しています。小中学生1人あたりの「教育費」はどれくらいかかっていますか。就学援助の各費目ごと、小中学校各学年別に示してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学用品費</li> <li>② 通学用品費（第1学年の児童生徒を除く。）</li> <li>③ 新入学児童生徒学用品費（第1学年の児童生徒又は入学予定者のどちらかに限る。）</li> <li>④ 宿泊を伴う校外活動費</li> <li>⑤ 宿泊を伴わない校外活動費</li> <li>⑥ 修学旅行費</li> <li>⑦ 体育実技用具費</li> <li>⑧ 学校給食費</li> <li>⑨ 医療費（学校保健安全法施行令（昭和33年政令第174号）第8条に規定する疾病のみ対象）</li> <li>⑩ 通学費</li> <li>⑪ クラブ活動費</li> <li>⑫ 生徒会費</li> <li>⑬ PTA会費</li> <li>⑭ 卒業アルバム代</li> </ol> <p>(2) 児童生徒の相対的貧困の実態をどのように認識されていますか。就学援助を必要としている児童生徒は増加傾向にあります。就学援助を必要としている児童生徒に対して十分に対応できていますか。</p> <p>(3) 必要な就学援助を行うとともに、憲法の定めにも則り、教育費無償化を実現するために、市教育委員会はどのように進めていきますか。</p>
質問事項： 市長と議長は平和行進に参加を	
質問要旨	<p>非核平和都市宣言を行っている木津川市の市長と議長として、6月26日に木津川市を訪れる平和行進に参加して、行進参加者を激励してください。</p>

4 山本 しのぶ	
質問事項： 大規模災害の備えは進んでいるか	
質問 要 旨	<p>日本には活断層、すなわち地震が起こりうる断層が無数にあります。木津川市にも奈良盆地東縁断層帯など大きな被害を及ぼす恐れのある活断層があり、私たちは、覚悟し備える必要があります。自分自身と大切な人たちを守るために、大規模災害に向けた「備え」を「日常化」していくことが大切です。</p> <p>また、災害時に住民の命と財産を守ってくれる重要な公共機関、木津西消防出張所の廃止について説明会を求める請願が3月定例会で採択されました。説明会の早期実施が求められています。そこで、次の通りお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 備蓄トイレ、生理用品、紙おむつ、液体ミルク、マスク、毛布の備蓄数量、備蓄期間と備蓄期間を経過したあとの活用方法は。また、それらの保管場所は。</li> <li>(2) 地域防災リーダーは、地域防災力向上のけん引役と期待されています。地域防災リーダーに「各避難所のレイアウト」を策定してもらうことや、防災訓練時にその実効性を確認してもらうことで、地域の実態に即した具体性のある避難所開設マニュアルが策定できるのでは。</li> <li>(3) 夜間や休日に発災した場合、職員の参集と対応は。</li> <li>(4) 消防団と自主防災組織の組織状況と課題は。</li> <li>(5) 市道並びに市内の府道・国道に「橋梁・跨線橋」は、何本ありますか。また、それらの耐震補強率を把握していますか。</li> <li>(6) 木津西出張所の廃止について説明会の実施を求める請願が採択されました。相楽中部消防組合と連携し、説明会実施に向けて協議を進めていますか。市長にお聞きします。</li> <li>(7) 祝園弾薬庫については、国の管轄であり詳細は不明ですが、弾薬庫拡充が報道されています。市長は、防災の観点からこれをどのように把握し、対策や対応についてどう考えていますか。</li> </ol>
質問事項： 地球温暖化対策の具体案は	
質問 要 旨	<p>令和6年3月に地球温暖化対策実行計画が策定されました。2050年までに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「脱炭素社会」の実現を目指しています。そして、その取り組み方法として「再生エネルギーの利活用」、「ごみの減量化・資源化」、「農業の環境負荷の軽減」、「環境意識の啓発」等が取り上げられています。そこで、これらの取り組みの具体化として次の通りお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「太陽熱温水器」を対象とする補助金を導入し、省エネ機器の推進を。</li> <li>(2) 古紙類集団回収団体は増加しているものの回収量は減っています。可燃ごみに混入している雑がみの回収率アップに向けた動機付けとなるように補助金の増額を。</li> <li>(3) 公共施設に「給水スポット」を設置し、「マイボトル推進運動」を全面的に応援して、さらなるペットボトル排出量の削減推進を。</li> <li>(4) 保育園や市内飲食店で、地元産食材の使用を広げ環境負荷の軽減につながる地産地消の推進を。協力施設や店舗に市作成のステッカーを配布してはどうでしょうか。</li> <li>(5) 脱炭素社会実現に向けた取組としての公用車の電気自動車導入について、ネイチャーポイントの観点を考慮していますか。</li> </ol>
質問事項： 侵略的外来種アカミミガメの対策を	
質問 要 旨	<p>アカミミガメは、1950年代にミドリガメとして輸入され、ペットショップや縁日で売られてきた経過があります。令和5年6月1日から「条件付特定外来生物」に指定され、購入や販売、野外への放出等が禁止されました。しかし、飼育放棄されたり、逃げ出したりしたものが、繁殖に繁殖を重ね、個体数が増え続けています。生物多様性保全のための取組として、在来種イシガメなどへの生態系破壊の実態調査と対策が必要です。</p> <p>また、野外でアカミミガメを捕獲し、処分に困り、市に相談された方に対し、受け取れないとの返答があったと聞いております。今後の捕獲駆除の取り組みについて市の考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アカミミガメの生息状況と、生態系への被害・影響等について。</li> <li>(2) アカミミガメの繁殖に対する防除対策について。</li> <li>(3) 地域連携保全活動応援団と連携し、「木津川市生き物ハンドブック」の策定を。</li> </ol>



令和6年第2回木津川市議会定例会（6月24日）

一般質問通告書

1 野田 えり	
質問事項： 新型コロナウイルス感染症対策の振り返りと今後の感染症対策について	
質問 要 旨	<p>新型コロナワクチンの全額公費による接種が令和5年度で終了し、国として感染症対策の調査や検証も特にないまま、令和6年度の秋冬には、自治体による定期接種が始まります。定期接種が始まる前に、次の項目についてお聞きします。</p> <p>(1) 昨年の9月議会でもお伺いしましたが、改めて本市において予防接種健康被害救済制度について、窓口相談に来られた方の人数と、その中で実際に申請された方の人数は何名ですか。また、申請された方の中で、国において認定された方と否認された方の人数はそれぞれ何名ですか。</p> <p>(2) 新型コロナワクチンの定期接種の周知方法は。</p> <p>(3) 地方自治法の改正やインフルエンザ等対策政府行動計画などについて、次のパンデミックが起こった時にワクチンの強制が行われ、私たちの人権がおびやかされるのではないかと不安の声が市民から上がっています。ワクチンの強制はあってはならないことですが、市長の見解をお聞きします。</p>

2 小見山 正	
質問事項： どのようにして地元の資源を活用して魅力を発信するのか	
質問 要 旨	<p>地元の魅力を発信し多くの人に知ってもらうことは、観光業の活性化、地元への愛着を深めることにつながる。そのための市の戦略について質問する。</p> <p>(1) 令和5年度の歴史文化&amp;フードツーリズム造成事業について質問する。</p> <p>① ディナーのメニュー開発がされたとのことであるが、そのメニューを今後どのように発展させていくのか。</p> <p>② 発信は十分だったのか。インターネット上では、例えば、「るるぶ」のお知らせ記事、広報きづがわ202号くらいしか情報が見当たらない。PRについての費用対効果は検証したのか。</p> <p>③ 観光コンテンツの造成発展は継続的な取り組みが必要となるが、今年度は具体的にどのような取り組みを考えているのか。</p> <p>④ さらに今後の展望を教えてください。</p> <p>(2) お茶の京都DMOと協力して木津川市の魅力をPRしている。その一環として、古寺巡礼バスを運行して、他府県の観光客の集客に大きな効果を出したと聞いている。また、お茶の販売促進にも寄与していると聞いている。</p> <p>① 今後は市単独で継続するのか、DMOと協力していくのか。</p> <p>② お茶の京都DMOと今後どのような事業を展開していくのか。</p> <p>(3) 木津川市の学校給食はとても充実している。しかし、学校給食法第2条第6項では、「我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること」が学校給食の目標として定められている。地元への愛着を深めるためにはこの目標を更に重視すべきではないかと考えるがどうか。フードツーリズム造成事業で生み出されたメニューなどの知見を学校給食に活かしてみてもどうか。</p> <p>(4) 木津川市内には、多くの国宝などの観光資源があるが、観光消費額は、京都府内では8番目（京都市を除く）である（『京都府観光入込客等調査報告書令和4年』表9）。また、観光入込客数では、12番目である（同表7）。</p> <p>① 観光資源を十分に活かし切れていないのではないかと。市としては、原因をどのように分析しているのか。</p> <p>② 今後、観光消費額・観光客数を増やす戦略を教えてください。</p>

質問事項： 農福連携について	
質問要旨	<p>障がい者就労施設での工賃を大きく引き上げることは難しいと言われている。</p> <p>また、農業分野での人手不足は、慢性化・深刻化していると言われている。</p> <p>そのため、この2つの課題への対応策の1つとして、農業分野での障がい者の活躍を促す「農福連携」が全国的に広がっている。</p> <p>市も、農福連携に取り組む必要があると思うが、どうか。</p>

3 高岡 伸行	
質問事項： JR上狛駅のバリアフリー化を パートⅡ	
質問要旨	<p>これまでから、JR奈良線に関しての質問は、再々させていただいたところです。令和3年12月議会では、JR上狛駅のバリアフリー化を議論させていただいております。</p> <p>現在、駅舎改修が行われており、以下のとおり問います。</p> <p>(1) 工事等を進めるに当たり、地元説明会で出た意見集約はもちろんされていると考えます。出された意見にどのように取り組むのかお尋ねします。</p> <p>(2) 設計段階の時点で、想定していたより地盤が脆弱とのことだが、具体的にどのような対策をされるのかお尋ねします。</p> <p>(3) 「JR上狛駅東側にも改札を」とのご意見もあったと聞いていますが、対応をお尋ねします。</p>
質問事項： ごみ収集のあり方を問う パートⅡ	
質問要旨	<p>令和4年3月定例会にて、ごみ収集のあり方について、質問させていただいたところです。その後の取組について、改めて問います。</p> <p>(1) 山城地域では、合併前より、拠点収集が基本ですが、戸別収集の所が2か所ございます。「平尾の一部、椿井の一部」です。</p> <p>新しい住宅地なのに、なぜ、このようなことが起こるのか。どのような経緯で戸別収集となったのか、お尋ねします。</p> <p>(2) 2か所の収集場所について、今後の方向性を問います。</p> <p>(3) 合併後18年目、ごみの有料化は7年目を迎えるに当たり、循環型社会推進基金の活用方法を見直し、拠点収集、ごみステーションにご協力くださる地域住民へのメリットを考える時期に来ているのではと考えますがいかがですか。</p> <p>(4) 開発指導要綱の見直しが必要ではないですか。</p>

4 堤 征一郎	
質問事項： JR木津駅前の周辺開発について	
質問要旨	<p>JR木津駅の東側には農地が広がっています。本来最も重点的に開発をするべき地域が農地になっています。確かに、無秩序に農地を宅地化して開発を進めることは農政上の問題があります。しかし、少なくとも交通の拠点である駅前を開発しないまま放置すると、確実にその地域の人口は減少します。人々が集まり活気を取り戻すためにも、都市計画上の見直しが必要です。</p> <p>そこで開発を進める方法について、以下の通り質問いたします。</p> <p>(1) 第2次木津川市都市計画マスタープランによると、「中心都市拠点の都市機能を強化する市街地形成の検討」をする地域であると書かれています。この検討の現状はどうなっているのか。</p> <p>(2) どうすれば開発が進むのか。また、農業振興地域の指定を解除して、都市計画を変更するにはどうすればいいのか。</p>

質問 要 旨	<p>(3) 当該地域は、ハザードマップによると浸水の恐れがある。仮にマスタープランに示された「木津駅東側地区及び城山台の一部」を宅地化すれば、追加の排水設備は必要なのか。追加が必要な場合は、いくら排水能力を備えた設備と予算が必要と予想されるのか。</p> <p>(4) 市として開発を希望する地域住民を支援する考えはあるのか。</p>
<p>質問事項： 入学式及び卒業式における市長の祝辞について</p>	
質問 要 旨	<p>先日、木津川市内の中学校で行われた入学式及び卒業式において、市長のあいさつが省略され、代わりにあいさつ文が書かれた1枚の紙が配布されていました。保護者の皆さんからは、以前のように市長から直接祝辞を生徒に伝えてほしいとの強い要望があがっています。以前は、市長の声が聞けたのに残念であるとの声もあります。</p> <p>中学校の入学式及び卒業式は一生に一度しかない大事な行事です。木津川市が市を代表して心からのお祝いの言葉を生徒や保護者の皆さんに直接伝えることは、最も大切なことです。</p> <p>市長と2人の副市長の計3人とあと2人の幹部が分担して5校ある中学校に行き、祝辞を伝えることを再開すべきです。</p> <p>そこで以下の点について質問いたします。</p> <p>(1) 過去7年間で市長が入学式及び卒業式で、直接祝辞を伝えた事例はあるのか。あれば、いつどこであったのか。</p> <p>(2) 元のように祝辞を直接伝えずに、紙の方がよいとする理由は何か。</p> <p>(3) コロナ渦を乗り越えた今、市長が直接祝辞を伝える方が生徒や保護者にとって望ましいとの声についての教育委員会の見解は。</p>
<p>質問事項： 放課後児童クラブについて</p>	
質問 要 旨	<p>共働き世帯の増加により放課後児童クラブの利用は増加しています。木津川市においても、待機児童ゼロを掲げ、利用希望者全員の受入れに努力していると思います。ただ、子どもたちに持たせる弁当が保護者の負担になっているとの声が上がっています。</p> <p>そこで、以下の点について質問いたします。</p> <p>(1) 利用者アンケートを実施した実績はあるのか。どのような要望が出されていたのか。</p> <p>(2) 希望者には給食か弁当を配布する考えはあるのか。</p>

令和6年第2回木津川市議会定例会（6月25日）

一般質問通告書

1	柴田 はすみ
質問事項： 防災対策を強化せよ	
質問 要 旨	<p>能登半島地震から5か月。この地震以外にも今年に入り各地で大きな地震が相次いでいます。先日、「多様性に配慮した防災対策」をテーマにした講演の内容を教えてくださいました。</p> <p>防災対策のポイントとして揺れている時は、①落下物から身を守る。②固定されたものにつかまる。③危険な場所から離れる。揺れが収まったら、①けがに注意して行動する。②火の始末をする。③ドアを開けて出口を確保する。以上のことが重要であり、次に特別な配慮を必要とする人のポイントは、高齢者なら飲みなれている薬など、持ち出すものの事前準備、日頃から地域の人との付き合いを大事に、携帯トイレなど非常時に持ち出すものをリュックに入れるなどが重要とされています。</p> <p>地震だけでなく、台風や大雨、洪水などの災害にも対応できる防災対策を進めることが重要です。最近では災害から身を守るため、気象の専門家をアドバイザーとして各自治体に任用する動きがあります。</p> <p>市長は能登半島地震を受けて、トイレカーの導入、井戸の登録制度等新たな施策に積極的に取り組んでいただいておりますが、もう一歩進めていくべきと考え質問します。</p> <p>(1) トイレカーの導入、井戸の登録制度の進捗状況は。</p> <p>(2) 先日、議会報告会で山城地域の戸別受信機が廃止になった後の対応についてご心配のお声があったが万全か。</p> <p>(3) AEDケースに、三角巾を配備すれば女性のプライバシーを守る他、負傷部分の固定などにも利用できると多くの自治体で導入されているが、考えは。</p> <p>(4) ペットを同伴できる避難所は整備されているか。</p> <p>(5) 気象の専門家の活用で情報を的確に発信、早期対応ができると思うがどうか。</p>
質問事項： 加茂地域の移動手段を問う	
質問 要 旨	<p>加茂地域は、南加茂台の急速な高齢化により2年前に過疎地域に指定されました。昨年は、JR加茂駅から近鉄奈良駅を結ぶ奈良交通バスの休止が突然提案され、南加茂台全住民に激震が走りました。奈良交通と市担当課、住民との話し合いの中、国の交付金で支援することで、1年間は今までどおりの運行が守られていますが、まだ来年以降は結論が出ていない状況で、住民の不安は解消されていません。</p> <p>また、以前から、南加茂台自治会から運転免許証返納後の移動手段等について、地域公共交通の要望書が提出されており、前マチオモイ部や地域交通審議会などで、検討頂いていました。</p> <p>そのような背景のもと、今回、高齢者の移動手段の確保として高齢者健康増進・移動支援モデル事業が提案されました。南加茂台だけでなくこれから高齢化が進む地域にどう活用できるのか大変注目される事業と考えお聞きします。</p> <p>(1) 奈良交通との協議の状況は。</p> <p>(2) 国で解禁されようとしているライドシェアについての考えは。</p> <p>(3) 全国各地で様々な交通手段が導入されているが、検討はしたのか。</p> <p>(4) 新事業の詳しい内容は。</p>

2 大角 久典	
質問事項： 認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて	
質問 要 旨	<p>国では、2025年には高齢者の5人に一人が認知症になると推計しており、認知症が私たちにとってますます身近なものになっています。そして2024年の1月1日に、共生社会の実現を推進する認知症基本法が施行されました。</p> <p>基本法の目的は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる社会の構築です。この目的に向かって、まず大切なことは、認知症に対する正しい理解を深めることであると思います。</p> <p>以下についてお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 認知症に対する正しい理解を深める広報活動の展開について</li> <li>(2) 認知症の人への理解を深める子どもを対象にした体験型教育の実施について</li> <li>(3) 認知症の早期発見に向けたスクリーニングの推進について</li> </ol>
質問事項： 木津川市公式LINEアカウントがどのように変わるのかを問う	
質問 要 旨	<p>広報きづがわ6月号の表紙に2024年木津川市公式LINEが変わりますと掲載されました。9分野がもっと便利になるとのことですが、現在も毎日新しい情報が発信されています。イベント情報や子育て応援、また平日忙しくて市役所に手続きに来られない市民の方が市役所に行かなくてもLINEの電子申請で手続きできる「行かない窓口」が導入されようとしています。</p> <p>そこで以下についてお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「どこでも通報」とは、具体的にどのような機能ですか。</li> <li>(2) 防災情報 for LINEとは。</li> <li>(3) LINE版ごみ分別アプリと現在のごみ分別アプリとどう違うのか。</li> <li>(4) 今後もっとユーザーを増やすための取り組みは。</li> </ol>

3 森本 隆	
質問事項： 中学校自転車通学の運用基準は適切か	
質問 要 旨	<p>本市では、市立小・中学校の児童生徒数は、令和3年度、7,849人となっているが、今後は城山台地域で当面の増加傾向があるものの、市内全体の傾向としては減少が見込まれ、令和9年度には、7,030人程度になると予想されています。</p> <p>また、市の教育委員会では、木津川市立小・中学校の在り方に関する基本計画を作成し、学校再編の検討を進めていくことが必要との見解です。</p> <p>このような中、中学校の通学区域を変更するに際し、中学校の自転車通学の運用基準を決め、通学路の安全を確保することと、中学生に負担のない通学手段を提供することが必要と考える。</p> <p>本市の中学校の自転車通学について、下記を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中学校の通学時間に関する考え方は。</li> <li>(2) 現在の市内各中学校の自転車通学に対する考え方と実際の運用基準は。</li> <li>(3) 自転車通学に対しての安全に対する取り組みは。</li> <li>(4) 城山台地区、木津南地区は、校区変更があり、自転車通学のニーズも高いため、早急に現在の自転車通学の運用基準を見直すべきだと考えるが、市の考えは。</li> </ol>
質問事項： 地球温暖化対策の具体策を問う	
質問 要 旨	<p>市の地球温暖化対策の取組は、本年2月1日に表明された「デコ活宣言」に基づき、谷口市長を本部長とする地球温暖化対策推進本部を立ち上げると市政方針で発表があった。</p> <p>具体的な取組については、本年度予算に計上された内容をベースに進めているとの認識である。</p> <p>市の地球温暖化対策について下記を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市の「デコ活宣言」とは何か。「デコ活」における自治体の役割は。</li> <li>(2) 脱炭素の取組の具体策の中で、他自治体も取り組んでいる「太陽光発電」に関する市の取組は。</li> </ol>

質問要旨	<p>(3) 原油高、円安が重なり、エネルギー価格が高騰している。市が管轄する施設の光熱費の値上がりはどの程度か。</p> <p>(4) 市が管轄する公共施設には、太陽光発電が一部設置されている。エネルギー価格高騰と脱炭素対策を兼ねて、公共施設の屋上に太陽光発電施設を増設する計画はないのか。</p>
------	--

1 谷川 光男	
質問事項： 通学路をより安全に	
質問要旨	<p>児童・生徒の通学路において、安全対策上有効であると判断し、関係部署とも連携しながら街頭防犯カメラの設置を進められていますが、既存の機器の補修も重要と考えます。横断歩道等の区画線が不鮮明な箇所やカーブミラーの腐食やゆがみ、歩道蓋のガタツキ等、歩行上問題があると思われる箇所をよくみかけます。また、通学路における事故多発地帯での車両事故も今だに発生している状況と市民から聞いております。</p> <p>そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 防犯カメラの設置状況と今後の予定は。</p> <p>(2) 通学路の定期点検の実施状況と処理件数は。</p> <p>(3) 道路パトロール（青パト）の実施効果は。</p> <p>(4) 道路幅員の狭い市道等で、通学時間帯における交通規制の考えは。</p>
質問事項： 市街地等における雑草対策について	
質問要旨	<p>安心・安全なまちづくりと快適な生活環境の向上を目指し、職員一団となって努力されていると思いますが、市管理の道路、河川、公園等の公有地や農業委員会が管轄する農地、そして、住宅地等で今だに雑草等の繁茂を放置されているところが見受けられます。安全性や環境面の観点から、管理者、所有者への指導等についてお尋ねします。</p> <p>(1) 市が管理する土地における雑草除草の基準は。</p> <p>(2) 市街地の空き地や農地に対する行政指導は。</p> <p>(3) JR・近鉄軌道敷地内の雑木（草）の現状と事業者への指導は。</p>
質問事項： JR上狛駅舎等の改良工事について	
質問要旨	<p>西日本旅客鉄道株式会社（以下「JR西日本」という）が実施するJR上狛駅舎改良工事に合わせ、市施工分のスロープ設置工事を委託（工事委託料44,120千円）し、快適で住みよい生活環境を目指し、本年5月より着工されていますが、その工程等についてお尋ねします。</p> <p>(1) 駅舎等の改修工事の工程及び工事期間等は。</p> <p>(2) スロープ設置工事に伴うJR協議は完了しているのか。</p> <p>(3) 工事説明会を実施されていますが、地域利用者の意見調整は。</p> <p>(4) 補正予算等第1号で、地盤改良に対する工事委託料（11,000千円の増額）の工法は。</p>
質問事項： 巡回パトロール及び住民の声から	
質問要旨	<p>1 市の玄関であるJR上狛駅の観光案内看板が見えにくい状態になっている。更新する考えは。</p> <p>2 府管理河川の萩の谷川等の河床に土砂が堆積し雑草が繁茂している状況である。府への要望の検討を。</p> <p>3 雨天の日、棚倉駅内の東西連絡通路に降雨が流れ込み、歩行困難の状況になる。改善策の検討を。</p>